

研究課題名：内集団・外集団の形成メカニズムと集団心理の進化・発達

～ 協力と戦争の進化・発達の基盤を探る ～



＜研究概要＞

ヒトは協力し平和な社会を築くこともできれば、戦争のような悲劇も生み出してしまいます。このような両極端な性質の進化的基盤に、比較認知科学的手法でアプローチします。敵対的な集団間関係を築くチンパンジーと寛容なボノボ、ヒト社会の特徴である重層社会の萌芽をみせるウマなど、多様な動物種を対象に、内集団・外集団の形成過程や集団心理のメカニズムを生理・認知・行動・社会・生態レベルから多層的に明らかにします。

さまざまな動物での比較研究

例えば、オキシトシンによる絆形成メカニズムの多種間比較研究。



ホルモンから認知・行動・社会・生態まで

例えば、オキシトシン投与、認知・行動実験、社会ネットワーク分析など。



やまもとしんや

氏名：山本真也

所属機関：京都大学

役職：准教授

(個体レベルから集団レベルの生物学と人類学およびその関連分野/自然人類学関連)

＜略歴＞

2004年京都大学理学部卒業、2009年京都大学理学研究科博士後期課程修了、理学博士。2009-2010年日本学術振興会特別研究員（PD）。2010-2013年京都大学霊長類研究所特定助教。2013-2017年神戸大学国際文化学研究科准教授。2017年より京都大学高等研究院准教授、および京都大学野生動物研究センター兼任准教授。